

顔認証改札サービスに関する利用規約

「顔認証改札サービスに関する利用規約」(以下「本規約」といいます。)は、大阪市高速電気軌道株式会社(以下「当社」といいます。)が運営する顔認証改札における利用条件等を定めるものです。

(本規約の適用)

第1条 本規約は、顔認証により改札口を通過することができる「顔認証改札サービス」(以下「本サービス」といいます。)の利用に関する条件や注意事項等を定めるものであり、本サービスの利用を希望される方(以下「利用者」といいます。)に適用されます。

2 利用者は、本サービスの利用にあたり、本規約の内容を承諾し、かつ、遵守するものとします。

3 当社は、民法第548条の4の規定に基づき、次のいずれかの場合に、あらかじめ、当社ウェブサイト内その他当社が適当と認める方法で、本規約を変更する旨および変更後の本規約の内容ならびにその効力発生時期を通知することにより、当社の裁量でいつでも本規約を変更することができるものとします。

(1)本規約の変更が、利用者の一般の利益に適合するとき。

(2)本規約の変更が、契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、変更の内容その他の変更にかかる事情に照らして合理的なものであるとき。

4 当社は、本サービスの内容の変更を随時行います。本サービスの内容の変更が行われた場合、変更が行われた後の本サービスについても、本規約が適用されます。

(顔認証改札機の利用)

第2条 顔認証改札機には、顔認証カメラが搭載されており、本サービスをご利用いただくことで、乗車券を取り出すことなく顔認証によりハンズフリーでの改札を受けることが可能となります。本サービスの利用には、「eMETRO 会員規約」「eMETRO アプリケーション規約」に同意のうえで、利用者の情報処理端末においてeMETRO アプリケーションのインストールおよびeMETRO 会員登録手続きを行っていただいた後、「顔認証ソリューション特約」に同意のうえで、顔画像登録を行う必要があります。

2 利用者は、本規約および「顔認証改札サービスに関する個人情報の取扱いについて」に同意のうえ、本サービスを利用するものとします。

3 利用者は、eMETRO アプリケーション等で本サービス対応のデジタル乗車券を購入し、操作画面に沿って設定していただくことにより、本サービスを利用することができます。なお、同時に複数のデジタル乗車券につき顔認証利用の設定をすることはできません。すでにデジタル乗車券の顔認証利用の設定がされているにもかかわらず、他のデジタル乗車券に顔認証利用の設定をした場合には、先に設定されていたデジタル乗車券の顔認証利用が解除され、当該デジタ

ル乗車券での本サービスの利用ができません。

4 顔認証利用の設定をしたデジタル乗車券であっても、デジタル乗車券対応の改札機を利用することができます。

(本サービスの利用拒絶または停止)

第3条 利用者が本サービスの利用のために必要となる事項を登録しない場合には、本サービスの利用ができません。

2 本サービスのシステム上の都合により利用者本人の識別ができない場合およびその他当社が必要と判断する場合は、本サービスの利用ができません。

3 当社は、利用者が次のいずれかに該当する場合には、本サービスの利用を拒絶または停止することがあります。

(1) 本規約の違反等により、過去に本サービスの利用を拒絶または停止されたことがあることが判明した場合

(2) 本サービスの利用にあたり入力された情報に、虚偽、誤入力または入力漏れがあることが判明した場合

(3) 当社が提供する本サービス以外のサービスの利用規約に違反したことがあることが判明した場合

(4) 本サービスを不正に利用した場合

(5) 本サービスの運営を妨害した場合

(6) 本規約に違反した場合

(7) 当社、他の利用者もしくは第三者に損害を与え、またはそのおそれがある場合

(8) 複数の e METRO アプリケーションのアカウントを作成し、複数のデジタル乗車券に顔認証利用の設定をした場合

(9) その他、当社が利用者として不相当と判断する場合

4 当社が、利用者に対し、本サービスの利用を拒絶または停止したことによって、利用者が損害を被った場合でも、当社は、その損害を賠償する責任を一切負わないものとします。

(注意事項)

第4条 利用者は、本サービスを利用するにあたり、以下の事項を遵守するものとします。

(1) デジタル乗車券を購入のうえ、携帯すること。

(2) 改札口を通過する際に駆け込んだり、割り込んだりせず、前方を向きゆっくり歩行すること。

(3) 改札口を通過する際にマスク、眼鏡、サングラス、帽子、覆面等顔の一部を隠す装身具の着用を可能な限り控えること。

(4) 顔認証改札機の音声、表示等の案内または係員の指示に従うこと。

(禁止事項)

第5条 本サービス利用にあたり、以下に定める行為を禁止します。

- (1) 当社もしくは第三者の著作権、商標権、意匠権等の知的財産権、肖像権その他の権利を侵害する行為、または侵害するおそれのある行為
- (2) 第三者のプライバシーを侵害する行為、または侵害するおそれのある行為
- (3) 第三者に本サービスを利用させる行為
- (4) 本サービスに関連するシステムへの不正アクセス、不正攻撃またはそのおそれのある行為
- (5) 本サービスの提供を不能にすること、その他本サービスの提供およびその運営に支障を与える行為、またはそのおそれのある行為
- (6) 当社もしくは第三者に不利益もしくは損害を与える行為、またはそのおそれのある行為
- (7) 犯罪行為もしくは犯罪行為に結びつく行為、またはそのおそれのある行為
- (8) 当社に対し虚偽の情報を提供する行為
- (9) 第三者になりすます行為
- (10) 本規約に違反する行為
- (11) 上記の他、法令もしくは公序良俗に違反する行為、または違反するおそれのある行為

2 利用者は、本サービスにかかる地位の全部または一部を第三者に譲渡、承継、または担保に供することはできません。

3 当社は、利用者が本規約に違反し、または違反するおそれがある等、利用者による本サービスの利用が相当でないと認められる場合、当該利用者による本サービスの利用を拒絶または停止することができるものとし、当該拒絶または停止によって利用者が損害を被った場合でも、当社はその損害を賠償する責任を一切負わないものとします。

(本サービスの終了および本規約の失効)

第6条 当社は、利用者へ通知することなく、本サービスを変更または終了することができるものとします。本規約は、本サービスの終了と同時に失効します。

2 前項の措置により、利用者が損害を被った場合でも、当社はその損害を賠償する責任を一切負わないものとします。

(本サービスの一時的な中断)

第7条 当社は、次のいずれかに該当する場合には、利用者へ通知することなく、本サービスの提供を一時的に中断することがあります。

- (1) 本サービスのシステムの保守を定期的に、または緊急に行う場合
- (2) 本サービス全体のシステムが既定のネットワークに接続できなくなった場合
- (3) 火災、停電、戦争、暴動、騒乱、労働争議等により本サービスの提供ができなくなった場合
- (4) 地震、噴火、洪水、津波等の天災により本サービスの提供ができなくなった場合
- (5) その他、運用上または技術上、当社が本サービスの提供を一時的に中断する必要があると判断した場合

2 当社は、本サービスの一時中断のお知らせを行う場合、当社が適当と判断する方法で利用者にその旨を通知します。ただし、緊急の場合またはやむを得ない事情により通知できない場合は、この限りではありません。当社は、前項の措置により、利用者が損害を被った場合でも、一切その責任を負わないものとします。

(損害賠償および免責)

第8条 当社は、利用者が当社に損害を与えた場合、当該利用者に対して損害賠償を請求することができるものとします。

2 当社は、利用者が本サービスに関して損害（逸失利益を含みます。）を被った場合であっても、本サービスの運営を適正に行っている限り何ら責任を負いません。

3 当社は、本システムの正確性・有用性・妥当性や特定の目的に対する適合性についての動作ならびに使用機器への適合性およびその他一切の事項について、いかなる保証もいたしません。

(反社会的勢力の排除)

第9条 当社は、利用者が反社会的勢力（暴力団員、暴力団準構成員、暴力団関係企業の役員等、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロもしくは特殊知能暴力集団構成員、その他これらに準ずる者またはこれらに該当しなくなった時から5年を経過しない者をいいます。以下本条において同じとします。）に該当し、または、反社会的勢力と次のいずれかに該当する関係を有することが判明した場合には、何らの催告を要せず、当該利用者の本サービスの利用を拒絶または停止することができるものとします。

- (1) 自己もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってする等、不当に反社会的勢力を利用したと認められるとき。
- (2) 反社会的勢力に対して資金等を提供し、または便宜を供与する等の関与をしていると認められるとき。
- (3) その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有しているとき。

2 当社は、利用者が自らまたは第三者を利用して次のいずれかに該当する行為をした場合には、何らの催告を要せず、当該利用者の本サービスの利用を拒絶または停止することができるものとします。

- (1) 暴力的な要求行為
- (2) 法的な責任を超えた不当な要求行為

- (3) 脅迫的な言動をし、または暴力を用いる行為
- (4) 風説を流布し、偽計または威力を用いて信用を毀損し、または業務を妨害する行為
- (5) その他上記に準ずる行為

3 当社が前各項の規定により利用者の本サービスの利用を拒絶または停止した場合には、当該利用者に損害が生じても当社は何らこれを賠償ないし補償することは要せず、また、当社に損害が生じたときは、利用者は、その損害（弁護士等専門家費用および当社において対応に要した人件費相当額を含みます。）を賠償するものとします。

（分離可能性）

第 10 条 本規約中のいずれかの部分が、裁判所の判決等により、無効または違法と判断された場合であっても、本規約の他の部分は影響を受けることなく、効力を有するものとします。

（準拠法および合意管轄）

第 11 条 本規約は日本法に準拠するものとし、本規約および本サービスに関連して当社と利用者との間で訴訟の必要が生じた場合は、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

2025 年 3 月 25 日制定

顔認証改札サービスに関する個人情報の取扱いについて

大阪市高速電気軌道株式会社（以下「当社」といいます。）は、当社が「顔認証改札サービス」を運営する上で、利用されるお客さまの個人情報を取得いたします。顔認証改札の利用を希望される方（以下「利用者」といいます。）は、以下の個人情報の取扱いについて同意をお願いいたします。

1. 会社名

大阪市高速電気軌道株式会社

2. 基本事項

当社は、利用者の個人情報の取扱いについて、個人情報の保護に関する法律及び当社の「eMETRO 会員規約」、「eMETRO アプリケーション規約」、「顔認証ソリューション特約」、「パーソナルデータの取扱いについて（プライバシーポリシー）」に基づき、適切に取り扱うものとします。

- ・ eMETRO 会員規約

https://maas.osakametro.co.jp/odb/pdf/emetro_account_terms.pdf

- ・ eMETRO アプリケーション規約

https://maas.osakametro.co.jp/odb/pdf/emetro_application_terms.pdf

- ・ 顔認証ソリューション特約

https://maas.osakametro.co.jp/odb/pdf/emetro_account_solution.pdf

- ・ パーソナルデータの取扱いについて（プライバシーポリシー）

https://www.osakametro.co.jp/privacy_policy.php

3. 個人情報の利用目的

顔認証改札において取得した利用者の個人情報の利用目的は、以下の通りです。

- ・ 顔認証改札利用時における利用者の認証
- ・ 利用者の顔画像に紐づけされたデジタル乗車券との連携
- ・ 顔認証改札の不正利用、違法行為の特定及び防止
- ・ 顔認証改札の円滑な提供、サービス改善、機能向上、品質向上のための利用状況の調査及び分析
- ・ 顔認証改札を正常に動作させるための調査及び分析
- ・ 個人との対応関係を排斥した統計情報の作成
- ・ その他上記の利用目的に附帯すること

4. 取得する個人情報の項目

取得する個人情報は、以下の通りです。

- ・ 利用者の顔画像に紐づけされたデジタル乗車券情報

- ・顔認証時に撮影した顔情報（顔画像および顔認証データ(顔特徴量データ)）
- ・顔認証改札の利用情報（改札通過の日時など）

5. 個人情報の取扱いについて

(1) ご登録時

事前に eMETRO に登録された利用者の顔画像は、顔認証改札の利用を希望された方のみ、顔認証データ（顔特徴量データ）に変換して、顔画像とともに顔認証改札の認証用サーバに登録を行います。

(2) 顔認証改札のご利用時

顔認証改札の顔認証用カメラは常時稼働していますが録画はしていません。

顔認証改札は対象者の顔を検知、認識した時点で顔画像の取得を行い、顔認証データ（顔特徴量データ）に変換して、認証用サーバに登録された情報との照合確認（認証）に利用します。

顔認証改札は、認証時に利用者が顔画像と紐づけしたデジタル乗車券の情報と連携させて通行の判定を行います。

顔認証改札で取得した顔画像および顔認証データ（顔特徴量データ）は、認証後、即時削除します。

(3) ご利用情報の消去

顔認証改札で利用する情報（顔画像、顔認証データ(顔特徴量データ)、デジタル乗車券)は、乗車券の有効終了日から一定期間経過後、認証用サーバから消去いたします。

なお、eMETRO にご登録された個人情報は、引き続き各種サービス等での利用を行うため保管しております。

6. 第三者提供

顔認証改札サービスで取得および取扱う個人情報は、法令等に特段の定めがある場合を除き第三者への提供はいたしません。

7. 個人情報の取り扱いの委託

当社は、取得した個人情報について、上記利用目的の範囲内で業務を行うために、安全管理措置を行ったうえで取り扱いますが、システム障害などの調査復旧の際に個人情報の取り扱いの一部を委託する場合があります。

個人情報の取り扱いについては、契約に基づき目的外の使用を禁止し、必要かつ適切な監督を行います。

<委託先>

株式会社高見沢サイバネティックス

パナソニック コネクト株式会社

2025年3月25日制定